

【大学教育推進会議】 e-Learning 推進部会

2. e-Learning 科目(9月30日〆切)

No	テーマ	学修到達目標	内容	課題
第1講	デジタルアーカイブの基礎	<ul style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブとは何か説明できる。 デジタルアーカイブがどのように発展してきたかについて具体例をあげ説明できる。 デジタルアーキビストに求められている能力について具体的に説明できる。 	デジタルアーカイブは、「デジタル」と「アーカイブ」という言葉からできた和製英語とされています。デジタルアーカイブとは何か？ デジタルアーキビストに必要な能力は何か？ここでは、言葉の意味と発展の歴史から、基本的な考え方を理解し、今後のデジタルアーカイブの方向性を考えます。	<ol style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブとは何か自身の立場で説明しなさい。 デジタルアーカイブがどのように発展してきたか説明しなさい。 デジタルアーキビストに求められている能力は何か自身の立場で説明しなさい。
第2講	デジタルアーカイブ開発と活用プロセス	<ul style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブの活用について具体例を挙げて説明できる 資料の選定評価について説明できる。 デジタルアーカイブのプロセスや記録方法について説明できる。 	デジタルアーカイブの利用は、資料の提示や提供から始まり、課題解決、知的創造等の処理へと進みます。またデジタルアーカイブを活用し、新しい「知」の創造を求め、さらに新しい「知」と人々の経験を付加し、新たな知的活動へと発展します。ここでは、デジタルアーカイブの開発と活用プロセスについて考えます。	<ol style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブの活用について具体例を挙げて説明してください。 資料の選定評価の課題について説明してください。 デジタルアーカイブのプロセスや記録方法について説明してください。
第3講	デジタルアーカイブの評価とメタデータ	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタルアーカイブアセスメントツール」の内容について説明できる。 記述のための国際標準、国際指針などの事例について説明できる。 資料（情報資源）のメタデータ記述ができる。 	デジタルアーカイブは、対象とする資料（情報資源）の分野も多岐にわたり、プロジェクト規模なども異なるため、それぞれにあわせた評価手法が求められます。そこで、本講では、デジタルアーカイブの自己点検ツールとして考案された「デジタルアーカイブアセスメントツール」の内容を把握し、その評価項目の中でも重視されているメタデータについて、記述のための国際標準、国際指針として制定されている事例から学びます。	<ol style="list-style-type: none"> 「デジタルアーカイブアセスメントツール」の評価項目の内、あなたが重要だと思う項目について、なぜそう思うかを含めて説明してください。 具体的に何か資料（情報資源）を一つ取り上げ、その資料のメタデータ記述項目を設定した上で実際の記述を行ってください。
第4講	デジタルアーカイブの利活用	<ul style="list-style-type: none"> 図書館におけるデジタルアーカイブの実践例を具体的に説明できる。 博物館におけるデジタルアーカイブの実践例を具体的に説明できる。 デジタルアーカイブの共通利用について説明できる。 	デジタルアーカイブは、1990年代の初期から、過去から現在の資料をデジタル化し、次の世代への伝承と現状での利活用を目指して開発が進められてきました。デジタルアーカイブの基本は、過去～現在の資料の収集・保管、デジタル化、さらに現状での利活用と次の世代への伝承です。過去～現在の各種資料	<ol style="list-style-type: none"> 図書館におけるデジタルアーカイブの実践例を具体的に説明しなさい。 博物館におけるデジタルアーカイブの実践例を具体的に説明しなさい。 デジタルアーカイブの共通利用について説明しなさい。

			を収集・保管し、次のように使われます。①次世代へのデジタルコンテンツの確かな伝承②国内外のデジタルコンテンツの流通と活用 ここでは、図書館や博物館等におけるデジタルアーカイブの利活用について考えます。	
第5講	デジタルアーカイブによる地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブと地域課題解決について説明できる。 地方創成イノベーションの創出について具体的に説明できる。 	知識基盤社会においてデジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという本学独自の「知の増殖型サイクル」の手法により、地域課題に実践的な解決方法を確立するために、地域に開かれた地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成をします。このことにより、地域課題に主体的に取り組む人材を養成する大学として、伝統文化産業の振興と新たな観光資源の発掘並びにデジタルアーカイブ研究による地方創成イノベーションの創出を行います。	1. 飛騨高山匠の技デジタルアーカイブにより、地域の文化産業を振興するための方策を3つ挙げて論述しなさい。
第6講	デジタルアーカイブと知的財産権(1)著作権処理	<ul style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブに著作権処理の能力が必要であることについて具体的に説明ができる。 著作権者の権利について具体的に説明できる。 著作権の契約書を作成できる。 	デジタルアーカイブとして、アーカイブを計画し、そして資料収集し、そして構築し、そして利用許諾し、また運用していくという、こういったときに必要な権利処理について説明します。	<ol style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブに著作権処理の能力が必要であることについて具体的に説明しなさい。 著作権者の権利について具体的に説明しなさい。 著作権の契約書を作成しなさい。
第7講	デジタルアーカイブと知的財産権(2)著作権に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブの実践における著作権に関する課題について説明できる。 著作権のデジタルアーカイブの活用に関する課題について具体例を挙げて説明できる。 	著作権について、自分の立ち位置とは関係ない形で第三者的に実践の試みの良い部分と課題について理解を深め、基本的な理解を図った後に、実践の中から法律など制度的な課題について考えます。	<ol style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブの実践における著作権に関する課題について説明しなさい。 著作権のデジタルアーカイブの活用に関する課題について具体例を挙げて説明しなさい。
第8講	ジャパンサーチとデジタルアーカイブ活用基盤	<ul style="list-style-type: none"> ジャパンサーチの目的について説明できる。 メタデータの連携方法について具体例を挙げて説明できる。 	ジャパンサーチは、書籍等分野、文化財分野、メディア芸術分野など、さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携して、我が国が保有する多様なコンテンツのメタデータをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォームである。このジャパンサーチについて理解を深め、基本的な理解を図った後に、メタデータの連携方法について考えます。	<ol style="list-style-type: none"> ジャパンサーチについての課題について説明しなさい。 ジャパンサーチ API の活用例について具体例を挙げて説明しなさい。
第9講	世界のデジタルアーカイブの発展とその活用	<ul style="list-style-type: none"> 世界のデジタルアーカイブの動向について説明できる。 世界のデジタルアーカイブを俯瞰して、その活用 	デジタルアーカイブの種類というふうを考えていったときに、書籍、文書、新聞それからテレビ・放送、映画、音楽・音声、舞台芸	<ol style="list-style-type: none"> 世界のデジタルアーカイブに関する課題について説明しなさい。 世界のデジタルアーカイブを見て、コ

		の変化について具体例を挙げて説明できる。	術、写真、それから美術品があります。その他にも、それとかあとはウェブページ、ゲーム、ソフトウェア、その他というようなのがあります。ここでは、世界のデジタルアーカイブの発展とその活用について考えます。	ングデジタルアーカイブする対象として何があるか具体例を挙げて説明しなさい。
第10講	デジタルアーカイブと法制度の現在地点	<ul style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブの実践における著作権に関する課題について説明できる。 著作権のデジタルアーカイブの活用に関する課題について具体例を挙げて説明できる。 	著作権について、自分の立ち位置とは関係ない形で第三者的に実践の試みの良い部分と課題について理解を深め、基本的な理解を図った後に、実践の中から法律など制度的な課題について考えます。	<ol style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブの実践における著作権に関する課題について説明しなさい。 著作権のデジタルアーカイブの活用に関する課題について具体例を挙げて説明しなさい。 デジタルアーカイブ憲章について、課題を説明しなさい。
第11講	文化はどのように記録するのか？	<ul style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブの対象である“文化”について説明できる。 記録に応じて、多様なデジタル化の方法を説明できる。 記録の際の留意点について説明できる。 	デジタルアーカイブの対象である“文化”の意味が以前に比べて広がっていること、“文化”は時代によって変化するものであることを理解し、さまざまな文化のデジタル化（記録）、デジタル化の際の留意点について学びます。	<ol style="list-style-type: none"> 身近な“文化”をひとつ挙げ、具体的な記録方法を挙げてください。 1. で挙げた記録方法の特性を説明しなさい。
第12講	文化資料はどのように管理・流通するのか？	<ul style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブの資料データの管理に必須であるメタデータの役割について説明できる。 データの流通について多様な発信方法があることを理解し、説明できる。 情報社会においてデータの管理と流通が重要である理由を説明できる。 	情報社会において、デジタル化・データの蓄積をする意味について理解し、具体的なデータの管理方法および流通方法について学びます。また、情報社会におけるデジタルアーカイブの管理と流通の重要性について考えます。	<ol style="list-style-type: none"> デジタルアーカイブにおいて、なぜ管理と流通が重要なプロセスであるのか、具体例を挙げて説明しなさい。
第13講	AI と人間の学び 赤堀侃司（東京工業大学名誉教授）	<ul style="list-style-type: none"> AI における様々な処理には、その基礎にデジタルアーカイブがあるということを説明できる。 AI 時代のデジタルアーカイブは、多様な価値を持っていることについて、事例を挙げて説明できる。 AI 時代のデジタルアーカイブの在り方と、人間の学びの変革について考えることができる。 	デジタルアーカイブは機械学習をはじめとした AI 技術の基盤となるものであり、AI 技術の深化により、人間の学びなどの人間の知的活動に、AI が大きな役割を果たしつつある。この AI における様々な処理には、デジタルアーカイブがその基礎にあり、AI 時代のデジタルアーカイブは、情報の保全・活用、知識の蓄積・再利用、文化遺産の保存・伝承、予測と未来への展望といった面で多様な価値を持つ。AI 時代のデジタルアーカイブの在り方と、人間の学びの変革について考えます。	<ul style="list-style-type: none"> AI 時代のデジタルアーカイブの在り方と人間の学びの変革について考察し、あなたの考えを 800 字で説明しなさい。
第14講	人と AI の学習研究から考える これからの教育 益川弘如（聖心女子大学教授）			
第15講	人工知能（AI）とデジタルアーカイブの現状と未来 澤井進（岐阜女子大学特任教授）			